

熊本リフレクティング研究会 主催

(共催：医療法人富尾会 桜が丘病院、医療法人社団明心会 あおば病院、訪問看護ステーションえいど - aid -)

第3回

リフレクティングセミナー

リフレクティングとは ノルウェーの精神科医であるトム・アンデルセンによって1985年に考案された、きわめて独創的なコミュニケーションに関する理論と実践です。「オープンダイアログ（開かれた対話）」の成果は世界を驚かせていますが、その丁寧な対話の基軸といえるのがリフレクティングでしょう。丁寧な会話についての会話を繰り返す中で、硬直し機能不全に陥ったコミュニケーションに心地よい新鮮な風が吹き抜けていくような可能性をも秘めています。

2020年

1月11日(土) 9:30 ~ 16:35

開場：熊本県総合福祉センター 5階研修ホール 熊本市中央区南千反畑3-7

【午前の部】 10:00~11:30 (受付9:30~) 参加費：無料

「OPEN DIALOGUE」の上映

【映画の説明】

フィンランド西ラップランド地方のケロプダス病院におけるプログラムで、初発精神病では、現在最高の研究結果を出している。「開かれた対話」プロジェクトについてのドキュメンタリー映画



【午後の部】 13:10~16:35 (受付12:45~) 参加費：2000円

「オープンダイアログ発祥の地ケロプダス病院研修報告」および、

「桜が丘病院から発信する熊本におけるリフレクティング・プロセスの展開について」

【登壇者】 矢原隆行氏（熊本大学大学院 人文社会科学部 教授）

小林幹穂氏（医療法人富尾会 桜が丘病院 院長）

大嶋高昭氏（医療法人富尾会 桜が丘病院 地域移行推進室 室長）

《お申込み方法》【午前、午後ともに申し込みが必要になります。】

下記の事務局へ、電話、FAX、メールでのお問い合わせの上、裏面要項にてお申込みください。

※申し込み期間はございますが、定員(100名)になり次第締め切らせて頂きます。

*なお、申し込み後のキャンセルの際は、必ずお電話にてご連絡ください。

熊本リフレクティング研究会とは

ケア領域における新たな参加・協働の技法として「リフレクティング」を学び、それぞれの臨床実践現場などの多様な場面でのどのように導入・活用すればよいかなどをフラットな立場で話し合い、考える場所です。またこのような取り組みを通じて熊本全体でのリフレクティング文化の形成・醸成を目指し活動したり研究したりする有志の集まりです。ご興味のおありの方は、お気軽にお問い合わせください。

【熊本リフレクティング研究会】

世話人代表：大嶋高昭（桜が丘病院）

事務局/お問い合わせ：松本智昭（あおば病院）

TEL：0964-32-7772（あおば病院）

FAX：0964-32-7333（あおば病院）

Mail：aoba294soudan@estate.ocn.ne.jp（あおば病院）

後援：熊本県精神保健福祉センター・熊本県社会福祉協議会